

性別適合手術施設申請

岡山大病院と光生病院

心と体の性が一致しない
性同一性障害（GID）の
人に対する性別適合手術を
安全に実施できる施設とし
て、岡山市の岡山大病院と
光生病院は16日、GID学

会に認定申請を行った。実
質的に学会基準をクリアし
た病院での手術に、4月か
ら公的医療保険が適用され
る。全国で計4病院が認定
される見通し。

GID学会の認定施設基
準は、形成外科医ら同学会
認定医を1人以上配置▽乳
房切除術か性別適合手術を
20例以上実施―など。厚生
労働省の施設基準もほぼ同
じ内容で、一定の技術や体
制を備えた医療機関を認定
することで、安全に手術を
受けられる体制づくりを進
める狙いがある。

同学会によると、岡山市
の2病院のほか、札幌医科
大（札幌市）、山梨大（山梨
県）も申請予定で、今月25日
の理事会で正式決定する。
岡山大病院は2001年
に初めて性別適合手術を
実施。光生病院は08年から
FTM（心は男性で体は女
性）の人を対象に、乳房切
除術を行っている。日本精

神神経学会の調査では、国
内での性別適合手術は、15
年12月末時点で1407
例。
GID学会の中塚幹也理
事長（岡山大学院教授）
は「認定施設を核に医師や
看護師らを育成し、将来的
には手術が行える病院を増
やしていきたい」と話して
いる。（民直弘）